

開催に寄せて

都幾川が形成した広大な沖積地を望む松山台地の先端部、市内野本地区に所在する將軍塚古墳は、現存長 115 m を測る県内でも有数の規模を誇る前方後円墳で、昭和 35 年に埼玉県指定史跡に指定されています。地元住民の方々には利仁神社が建つ地として、また隣接する野本小学校の子どもたちからはその形から「ひさご山」と呼ばれ、親しまれている場所となっております。

さて、將軍塚古墳につきましては、その内容や古墳の造られた時期について、4 世紀とする説、あるいは 5 世紀後半から 6 世紀とする説など諸説あり、古墳の実像がわかっていませんでした。まさに「將軍塚古墳の謎」でした。早稲田大学考古学研究室の協力を得て、平成 29 年 3 月に、三次元墳丘測量と地中レーダー探査を中心とする調査を行い、大きな成果がありました。今回はその調査成果について、調査を担当した城倉正祥先生にお話をさせていただきます。

講演会を通し、当市の歴史に一層関心を寄せていただくとともに、文化財保護行政に対してのご理解とご協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

平成 29 年 12 月 10 日

東松山市教育委員会教育長 中村 幸一

日 程

- | | |
|-------|--|
| 12:30 | 開場 |
| 13:00 | 日程説明 |
| 13:05 | 東松山市内の古墳紹介
『東松山市内の古墳について』
東松山市埋蔵文化財センター副所長 佐藤 幸恵 |
| 13:30 | 休憩 |
| 13:40 | 挨拶 東松山市長 森田 光一 |
| 13:50 | 講演
『3D技術でせまる將軍塚古墳の謎』
早稲田大学文学学術院准教授 城倉 正祥 氏 |
| 15:30 | 閉会 東松山市教育委員会教育長 中村 幸一 |